

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	事業名 【所管課】	計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和4年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	
									【指標】	【対象者・所管課からの評価】
1	単	クーポン券発行事業 (R3予算分) 【企画課】	①新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による景気低迷や、円安・ウクライナ情勢の影響による物価高騰への対応として、地域住民の家計支援及び地域経済の活性化を図るためクーポン券を発行 ②クーポン券発行に関する経費(商工会への補助金) ③クーポン券助成 5,000円×9,100世帯×利用率65%≒30,000,000円 印刷製本費(封筒) 121,000円 消耗品・通信運搬費・報償費 676,000円 事務費 2,150,000円 ④笠松町民、笠松町商工会	R4.6	R5.3	37,005,955	30,154,000	町商工会に加入する事業所等で使用できるクーポン券を、町内全世帯へ配布 クーポン券助成 5,000円×9,494世帯×利用率72.97%≒34,642,000円 印刷製本費(封筒) 120,670円 消耗品・通信運搬費・報償費 676,640円 事務費 1,566,645円	クーポン利用率および利用者満足度	【対象者】 家計の負担軽減および事業所等の売上向上へと繋がった。 【所管課】 当初想定の利用率を上回るクーポン利用があった。 利用者対象アンケートから、高い満足度(非常に満足・満足が73%)を得られていることが分かった。(571名回答の内)
2	単	学校給食費負担軽減事業 【学校給食センター】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援するため、学校給食費の6ヶ月減免を実施 ②学校給食費(教職員は除く)の減免 ③学校給食費(小中学校:4校、10月~3月分) 【小学校:10月~3月】 29,036,256円 4,600円×(742人×6月+294人×3月+296人×3月)=28,621,200円 3,565円(牛乳なし)×19人×6月=406,410円 262円×3人×11日=8,646円 【中学校:10月~2月】 14,644,150円 5,300円×551人×5月=14,601,500円 4,265円(牛乳なし)×2人×5月=42,650円 【中学1・2年生:3月】 1,965,265円 5,300円×370人×1月=1,961,000円 4,265円(牛乳なし)×1人×1月=4,265円 【中学3年生:3月】 162,534円 298円×181人×3日=161,814円 240円×1人×3日=720円 給食材料費高騰分 2,000,000円 ④児童生徒の保護者	R4.4	R5.3	48,639,635	44,046,000	令和4年10月~令和5年3月までの学校給食費を無償 【小学校】 児童数(延人数) 6,229人 牛乳なし(延人数) 114人 計6,343人 29,069,504円 【中学校】 生徒数(延人数)3,306人 牛乳なし(延人数) 12人 計3,318人 16,771,949円 小・中合計 45,841,453円 【給食材料費高騰分】 2,798,182円	無償化した児童・生徒数	【対象者】 町内の小中学校に通う児童・生徒の保護者の家計の負担軽減となった。 【所管課】 10月~3月分の学校給食費の無償化をしたことにより、子育て世帯の経済的負担軽減となった。 またコロナ禍における物価高騰の影響を受けている給食材料費高騰分を公費で負担したことにより、保護者に新たな負担を求めることなく、保護者の経済的負担軽減が図れた。
3	単	学校給食費相当額助成事業 【教育文化課】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援するため、町内在住の県立羽島特別支援学校等の児童・生徒の学校給食費相当額の6ヶ月を助成 ②学校給食費相当額の保護者への支援金 ③学校給食費相当額(町立小中学校単価を適用) 4,600円×8人×6月=220,800円 5,300円×8人×6月=254,400円 ④児童生徒の保護者	R4.6	R5.3	197,400	142,000	町内在住の県立羽島特別支援学校等に通学する児童・生徒の学校給食費相当額を助成 4,600円×6人×6月=165,600円 5,300円×1人×6月= 31,800円	コロナ禍で物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援	【対象者】 家計の負担軽減に繋がった。 【所管課】 コロナ禍で物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計の負担軽減に繋がった。
4	単	子育て世帯食育負担軽減事業 【福祉子ども課】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援するため、未就学児のいる世帯に乳幼児子育て応援支援金を支給 ②乳幼児子育て応援支援金 ③乳幼児子育て応援支援金 3,000円×1,078人×6月=19,404,000円 封筒・郵送代等 121,000円 ④未就学児の保護者	R4.6	R5.3	19,519,839	19,404,000	・支援金 対象児童1,078人(18,000円) うち1,078人支給 支給率100% 19,404,000円 ・封筒印刷・郵送代 115,839円	支援金支給による経済的負担軽減	【対象者】 家計の負担軽減となった。 【所管課】 家計支援に繋がった。
5	単	新入学生世帯等負担軽減事業 【福祉子ども課】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援するため、新たに進学する児童生徒がいる世帯に対し、進学に必要な制服や学用品などの準備に係る、費用負担軽減を図るため支援金を支給 ②新ステージステップアップ応援支援金 ③新ステージステップアップ応援支援金 10,000円×567人=5,670,000円 封筒・郵送代等 76,000円 ④令和5年度に進学する児童生徒の保護者	R4.6	R5.3	5,735,266	5,670,000	・支援金 対象児童568人(10,000円) うち566人支給(2名未申請) 支給率99.6% 5,660,000円 ・封筒印刷・郵送代 75,266円	支援金支給による経済的負担軽減	【対象者】 家計の負担軽減となった。 新生活へのスムーズな移行に繋がった。 【所管課】 家計支援に繋がった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	事業名 【所管課】	計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和4年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	
									【指標】	【対象者・所管課からの評価】
6	単	水道料金基本料減免 事業 【水道課】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている町民や事業所への支援として、水道料金基本料の減免を実施 ②笠松町水道事業会計に繰り出し、水道料金基本料の減免に係る費用 ③4期 9,046件 基本水量 11,512,360円、メーター使用料1,128,728円 5期 9,100件 基本水量 11,577,742円、メーター使用料1,136,004円 6期 (1,282円+107円)×1期×9,136件=12,689,904円 システム改修費用 495,000円 ④笠松町民及び町内事業所(公共施設を除く)	R4.6	R5.3	38,540,000	36,418,000	令和4年4期(11月請求分)から令和4年6期(3月請求分)までの水道料金の基本料金とメーター使用料を減額 27,255件 38,064,516円 システム改修費 475,484円	水道料金基本料減件数 延27,400件	【対象者】 家計等の負担軽減につながった。 【所管課】 物価高騰の影響を受けている町民や事業所の負担軽減につながった。
7	単	商工会コロナ対策事業 【環境経済課】	①アフターコロナに向けた町内事業者の経営改善及び事業継続を目的に、商工会が実施する販路拡大や物産展等参加などの支援策に対し補助 ②商工会実施事業への補助金 ③商工会が実施する販路開拓・物産展等参加などへの支援策への補助(補助率:1/2~1/3) 1,453千円 ④笠松町商工会	R4.6	R5.3	1,388,000	1,000,000	・全国物産展に参加 名称「ニッポン全国物産展2022」 開催日「令和4年11月18日、19日、20日(3日間)」 会場「池袋サンシャインシティ展示ホールA・B」 主催「全国商工会連合会」	・出展者ブースにて特産品を販売 ・町のパンフレットを配布 ・特産品の試供品と試供品提供者のパンフレット等を配布	【対象者】 町特産品のPRに繋がった。 新たな顧客確保に繋がった。 【所管課】 町全体のPR及びふるさと納税のPRに繋がりが、地域経済の活性化に繋がった。
8	単	コロナワクチン接種対策事業 【健康介護課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者の4回目接種を促進するため、ワクチン接種会場への移動手段を確保し円滑なワクチン接種を実施 ②タクシークーポン券 ③クーポン券(自己負担200円除く) 4回目接種 1,200円×2回×500人=1,200,000円 ④町内在住高齢者	R4.4	R5.3	902,650	900,000	65歳以上高齢者及び障がい者が利用できるタクシークーポンを配布し、1,069人の利用があった。	クーポンの利用	【対象者】タクシー利用者 1,041人 福祉タクシー利用者 28人 【所管課】 接種の促進を図ることができた
9	単	火葬場待合室建替事業 【環境経済課】	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、火葬場待合室の利用可能スペースが狭小であることに加え、換気機能も十分でないため、施設利用者同士の3密回避を徹底するため、待合室の建替を実施 ②待合室建替工事費用 ③工事設計監理委託料 1,320,000円 工事請負費 12,501,500円 ④笠松町営火葬場	R4.6	R5.3	13,821,500	12,500,000	工事設計監理委託料 1,320,000円 工事請負費 12,501,500円	クラスタ発生 0件	【所管課】 火葬場待合室を建替え、利用可能スペースの拡大等により、施設利用者同士の3密回避ができ、クラスタ発生は0件であった。
10	単	松枝小学校施設改修事業 【教育文化課】	①松枝小学校の屋外水飲み(手洗い)場の蛇口をレバー式に改修し、新型コロナウイルス感染防止対策の強化を図る ②屋外水飲み場(3箇所)改修費用 ③工事請負費(3箇所) 3,058,000円 ④松枝小学校	R4.6	R5.3	3,058,000	3,000,000	3箇所屋外水飲み(手洗い)場の蛇口をレバー式に改修 1箇所に3口のレバー式蛇口を設置	水飲み場における接触機会の減少	【対象者】 蛇口を握って回すタイプからレバー式に改修したことにより、水飲み場を利用する際の接触機会を減少することができ、安心して利用することができた。 【所管課】 感染拡大防止に繋げることができた。
11	単	福祉会館トイレ改修事業 【福祉会館】	①新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設の安心安全確保を図るべく、トイレ手洗いの自動水栓化など、施設利用者同士の非接触を徹底し感染防止対策の強化を図る ②トイレ改修工事費用 ③工事設計監理委託料 1,518,000円 改修工事請負費 7,777,000円 ④福祉会館	R4.6	R5.3	9,295,000	8,800,000	・2階男子、女子トイレ洋式化、床の乾式化 男子トイレ:和式2→洋式1 女子トイレ:和式3→洋式2 ・手洗いの自動水栓化 男子2箇所、女子2箇所、多目的トイレ1箇所	トイレ改修等工事による感染拡大防止効果	【対象者】 手洗自動水栓などの導入により衛生的に使用でき、感染拡大防止対策が向上した。 【所管課】 改修工事により衛生面の向上が図られ、感染拡大防止に繋がった。
12	単	松枝公民館トイレ改修事業 【教育文化課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設の安心安全確保を図るべく、トイレ手洗いの自動水栓化など、施設利用者同士の非接触を徹底し感染防止対策の強化を図る ②トイレ改修工事費用 ③改修工事請負費 4,398,900円 ④松枝公民館	R4.6	R5.3	4,398,900	4,300,000	1階トイレ改修工事 3,999,000円×1.1=4,398,900円 洋式便器、蓋の自動開閉: 男子2箇所、女子3箇所 手洗自動水栓、自動石鹸: 男子2箇所、女子3箇所	空気感染、接触感染リスクの軽減	【対象者】 空気感染、接触感染リスクを軽減して利用できるようになった。 【所管課】 自動洗浄化、洋式の蓋の自動開閉化、自動水栓化により空気感染、接触機会を軽減させ、利用者の感染リスクを軽減させることにより感染拡大防止に繋がった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	事業名 【所管課】	計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和4年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	
									【指標】	【対象者・所管課からの評価】
13	単	歴史未来館トイレ改修事業 【歴史未来館】	①新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設の安心安全確保を図るべく、トイレ手洗の自動水栓化など、施設利用者同士の非接触を徹底し感染防止対策の強化を図る ②トイレ改修工事費用 ③改修工事請負費 1,078,000円 ④歴史未来館	R4.6	R5.3	1,078,000	1,000,000	自動水栓取替工事請負費 1,078,000円	接触機会の減少	【対象者】 トイレの水栓を自動化する事により、来場者の水栓を介する感染リスク軽減に繋がった。 【所管課】 トイレの水栓を自動化する事により、館全体の水栓を介する感染リスク軽減に繋がった。
14	補	町民体育館トイレ等改修事業 【教育文化課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設の安心安全確保を図るべく、トイレ手洗の自動水栓化など、施設利用者同士の非接触を徹底し感染防止対策の強化を図る ②トイレ改修及び多目的室換気扇設置工事費用 ③ トイレ改修工事 7,865,000円 多目的室換気扇設置工事 587,400円 ④町民体育館	R4.6	R5.3	8,452,400	8,400,000	トイレ改修工事 7,150,000円×1.1=7,865,000円 洋式便器、蓋の自動開閉: 1・2階 男子・女子各1箇所 手洗自動水栓、自動石鹸: 1階 男子1箇所、女子1箇所 2階 男子1箇所、女子2箇所 多目的室換気扇設置工事 534,000円×1.1=587,400円 換気扇 6台	空気感染、接触感染リスクの軽減	【対象者】 空気感染、接触感染リスクを軽減して利用できるようになった。 【所管課】 自動洗浄化、洋式の蓋の自動開閉化、自動水栓化、換気扇設置により空気感染、接触機会を軽減させ、利用者の感染リスクを軽減させることにより感染拡大防止に繋がった。
15	単	コミュニティバス運行拡充事業 【企画課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、地域の生活交通として活用されているバスでの感染防止対策を強化するため、利用者の多い朝夕の時間帯の増便による車内の密の回避を図る ②増便による委託料の増額分 ③委託料(増便) 194,700円×12月=2,336,400円 委託料(体制確保) 319,000円×12月=3,828,000円 ④笠松町	R4.4	R5.3	6,164,400	6,100,000	混雑が予想される通勤、退勤時間帯において増便を行い運行。 平日において6時と19時に各系統1便ずつ増便。車内の混雑の回避を図った。	増便実施による利用者の増加(回復)	【対象者】 「これまでは混雑により車内が密になることがあったが、増便により混雑が緩和され安心して乗車できる」より便利になった」など利用者の声が聞かれるようになった。 【所管課】 利用者人数が、令和3年度では月平均5,000人程度であったが、令和4年度では月平均6,000人程度まで増え、事業により回復してきているといえる。
16	単	デマンドタクシー運行実証実験事業 【企画課】	①人との接触機会の減少によるコロナウイルス感染対策及びアフターコロナにおける新たな移動手段、交通空白地解消を目的としデマンドタクシー導入に向けた実証実験を実施 ②運行負担金及び乗降場設置費用 ③運行負担金 【基本】 330,000円×12月=3,960,000円 乗降場設置 5,500円×27箇所×12月=1,782,000円 ④チョインコ(運行主体)	R4.4	R5.3	5,742,000	5,700,000	デマンドタクシー「チョインコカラタン」の運行実証実験を継続実施	利用者数の増加(前年度比較)	【対象者】 「巡回町民バスの停留所がないところでも利用できて便利」「一回の乗車料金で行ける場所が増え、便利になった」など利用者の声が聞かれるようになった。 【所管課】 会員数、月別の利用者数も増え続けており、新たな公共交通としての認識が広がってきている(会員数279人(R5.3末))。町内の公共交通手段として比較すると、巡回町民バスより人との接触が少なく利用できる。導入に向けてさらに実証実験を続けていく。
17	単	体育館空調設置事業 【教育文化課】	①新型コロナウイルス感染症対策として、小学校屋内運動場(災害時の避難所)における感染防止対策の強化を図るため、換気機能の向上を図ることを目的に空調機を設置するもの ②空調機使用料 ③松枝小学校 436,260円×12月=5,235,120円 下羽栗小学校 485,320円×12月=5,823,840円 ④松枝小学校・下羽栗小学校	R4.4	R5.3	11,058,960	11,058,000	<松枝小学校> 空調機器6基、コインタイマー2基、電気設備工事等 <下羽栗小学校> 空調機器4基、コインタイマー1基、電気設備工事等	体育館の換気対策強化	【対象者】 空調機の設置により、換気機能が備わり、体育館内で安心して活動することができた。 【所管課】 空調機の設置により、換気機能が備わり、授業及び学校開放で利用する方の感染防止に繋がった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(実施状況及び効果検証)

No	補助・単独	事業名 【所管課】	計画申請時の事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	令和4年度 決算額 (円)	交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	
									【指標】	【対象者・所管課からの評価】
18	補	資源ごみ回収拠点等 管理事業 【環境経済課】	①新型コロナウイルス感染防止対策として、資源ごみ排出機会の拡大及び粗大ごみ予約制への変更を行い、排出時における町民の密接を回避させた各施設の業務を継続して実施 ②資源ごみ回収拠点等管理業務 ③資源ごみ回収拠点管理業務 回収拠点の巡回、回収フレコン袋交換等 759,000円×12月=9,108,000円 自己搬入施設管理業務(搬入時の受付・計量等) 715,000円×12月=8,580,000円 ④笠松町	R4.4	R5.3	17,688,000	17,600,000	回収拠点の巡回、回収フレコン袋交換等 9,108,000円 自己搬入施設管理業務(搬入時の受付・計量等) 8,580,000円	プラスチック製品容器 包装収集車の稼働車数 1,200台	【所管課】 排出機会が増え、プラスチック製品容器包装収集車の稼働車数は1,222車あり、密接を回避することができた。
19	単	子育て家庭支援事業 【健康介護課】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援するとともにインフルエンザとの同時流行を防止するため、中学生までのインフルエンザ予防接種費用の助成を実施 ②予防接種助成 ③インフルエンザ予防接種助成(1歳～中学3年生まで) 1,000円×1,800回分=1,800,000円 ④子育て世帯	R4.4	R5.3	1,236,400	1,100,000	インフルエンザ予防接種費用助成 接種者数1,237人	予防接種費用助成者数	【対象者】 家計の負担軽減となった。 インフルエンザウイルスの感染や、重症化予防につながり、精神的な負担を軽減できた。 【所管課】 家計支援につながり、インフルエンザウイルスの感染や、重症が予防を図ることができた。
20	補	ふるさと納税業務代行 委託事業 【企画課】	①新型コロナウイルス感染防止対策として、ふるさと納税の返礼品を提供している地域事業者との接触機会の減少を図ることで、感染リスクを低減させるため、返礼品等の一括業務を一括して外部委託するもの ②一括業務代行委託・手数料 ③一括業務代行委託・手数料 11,880,000円 ④笠松町	R4.4	R5.3	11,138,160	9,395,000	(株)さとふるへふるさと納税業務代 行を委託 ふるさと納税業務委託料 11,404,052円	接触回数の減少	【対象者】 町との接触機会が減少し、感染リスクが低くなった。 【所管課】 20事業者に対し、合計9,743件のふるさと納税返礼品の発注・請求業務を委託業者により代行でき、地域事業者との接触機会が減少し、感染リスクが低くなった。
21	単	笠松町プロモーション 事業 【企画課】	①アフターコロナに向けた町の魅力アップ・情報発信を民間のノウハウを活用し、より効果的にPRできるイベントの開催支援を実施 ②イベント開催支援補助 ③イベント開催支援補助 3,980千円 ④笠松町プロモーション協会	R4.4	R5.3	3,980,000	3,900,000	笠松町プロモーション協会に対し、 補助金を交付 補助金:5,515,214円	イベント開催状況	【対象者】 かさマルシェvol.4、笠松宵まつり2022、かさまつピアパーク2022、かさマルシェハロウィンパーティーを開催でき、町内外へ町の魅力発信・PRが図れた。 【所管課】 民間のノウハウを活用したイベントを様々開催でき、町内外から多くの来場者が来たことから、幅広い情報発信・PR効果があった。
22	単	医療・介護・障害福祉 施設支援事業 【健康介護課】	①コロナ禍において地域の医療・介護・障害福祉施設を維持するため、原油価格・物価高騰の影響を受けている医療機関等を支援するため、物価高騰等対策支援金を支給 ②医療・介護・障害福祉施設への支援金 ③事業内容・施設規模等により定める金額を支給 医療機関 31事業所 4,400,000円 訪問看護 5事業所 100,000円 介護施設 44事業所 3,910,000円 障害福祉施設 13事業所 850,000円 ④医療・介護・障害福祉施設	R4.10	R5.3	9,260,000	9,260,000	物価高騰等対策支援として、医療 機関や介護事業所等に支援金を 支給した。 医療機関 31事業所 4,400,000円 訪問看護 5事業所 100,000円 介護施設 44事業所 3,910,000円 障害福祉施設13事業所850,000円	物価高騰等の影響に よる医療機関及び介 護等事業所の運営を 維持する。	【対象者】 令和4年度中、支援金を支給した医療機関・事業所の休止・廃止 0件 【所管課】 安定的な医療機関及び事業所の運営を支援できた。
合 計						258,300,465	239,847,000			